

磐城時報

編輯人 岡田弘成
印刷所 磐城時報印刷所
電話 二四一
代印所 磐城時報印刷所
電話 二四一
電話 二四一
電話 二四一

民政俱樂部の建物競賣を申請す

共有者に正式通知 石城民政の内紛

紛糾を極めてある石城民政の萩原上田長一氏が水戸市橋本本部會、俱樂部の建物共有保存登記申請を代理人として平町南記問題はその後野崎派では若松町の民政俱樂部建物見積り三千萩原派の登記申請者三十二名に二百圓中債務者吉田五平氏の持對し横領並びに虚偽の登記なり分見積り百圓に對し平町裁判所とし告訴を突き付ける準備を遂げ行政競賣を申請、即日行政競賣の共有者三十二名の一人である十一名に對し競賣開始の正式通知平町會議員吉田五平氏に三百圓を知したが、近日中に都會俱樂部の債權を有する茨城縣多賀高部の競賣公告が執行される筈だ

共有者は異議申立

萩原、漆畑兩氏交々語る

民政俱樂部の建物の競賣決定を通知された、萩原氏等共有者又一方野崎派の漆畑元吉氏は登記申請者一人名は行政競賣の異議申立てをなしたが、幹部長萩原氏は語る。
俱樂部が行政競賣と決定された事は事實で、是れには例の手が動いたことは勿論判つて居る、俱樂部が登記申請をしたからとて共有登記者三十二名の共有物にする意思はなく保存する為め各町村から二三宛の代表者を選んでやつたことだから登記申請の際三十二名に前記の旨を通したので、決して問題になるやうなことはないが、吉田君の負債の爲め斯んな問題を引き起したので部落並に爾後の暴落の影響等から

生卵の驛賣

平驛でやりたいた石城郡下の養鶏事業は米麥價低め斯んな問題を引き起したので部落並に爾後の暴落の影響等から

小名濱港修築の寄附減額嘆願

地元小名濱町の苦境

小名濱港修築に對する地元寄附金は昭和五年より七ヶ年繼續で強制的に對するしつべ返しも見最終年は八千圓その他は七千圓づつと定められて居るが、町當局は語る。小名濱港修築に對する寄附金は現在町民のみが多く負擔することは困難、やはりこれは修築によつてあとから續々殖える町民にも均等に及ぼしたい、従つて工事が繰延また繰延を見た今日では寄附額もやはりそれに比例して少くして欲しいのである。

明十五日限りで四倉營業所廢止

従業員は轉勤若しくは減首 東部電力の大縮少

東部電力株式會社四倉營業所は一般事務は平營業所に於て四倉電氣會社を買収して以來相なる事となつた、現在四倉營業所當の成績を擧げて居るが、財界には従業員三十名あり、夫々轉不況の影響をうけて財的の打撃を命ずる外整理されるものも在る、社員中、中野捨典は本社では来る十六日から四倉營業所を廢止し、社員散宿所と改

町會議員の諒解を容れ

緊急施行町會召集 提案は要求事項のみ

平町會は来る二十三日頃召集の豫定であつたが町會議員多數が連署して町會召集を要求した。昭和四年度出納中未拂の件で十四日午後一時から急施行町會を召集する事になつた、提出事項は町會議員が要求した件のみ各項目の如くである。

女客の窃盜

石城郡四倉町新町鈴木屋旅館に去る八日宿泊した女給風の女が同旅館の他から衣類數点を窃取し逃走したので四倉署永山刑事が捜索の結果十三日取押へたが、この女は當時住所不定宮城縣刈田郡白石町生れ高橋久代(二二)と判明した。

謹告

本社主催第二回中等學校野球大會組合せ左の如く決定致し候

第一回戰 六月二十一日午後二時より 相馬中學對 双葉中學

第二回戰 六月二十二日午前八時半より 磐城中學對 安積中學

同 午前十一時より 田村中學對 第一回戰勝者

同 午後二時より 決勝戰

會場 全部磐城中等學校

主催 磐城時報社

家賃賃貸價 調査終る

平町家賃賃貸價格調査委員會は去る九日から開催したが、修正箇所多く會期最後の十二日は午後九時迄繼續終了閉會したが、宛同数となり、その結果佐藤村の結果原案に對し修正を行つたのは二百八十三棟七百六十に開催するが、宮城、茨城兩縣決戦投票の結果も前同様となり六圓七十七錢、内増額したもので四千四百一十一圓五十四錢、減額を豫想されて居る。

愛犬品評會

平町愛犬俱樂部主催の第一回愛犬品評會は十五日平町元平劇場跡に開催するが、宮城、茨城兩縣決戦投票の結果も前同様となり六圓七十七錢、内増額したもので四千四百一十一圓五十四錢、減額を豫想されて居る。

川前村紛糾

石城郡川前村では去る九日第二次家屋稅調査委員の選舉を執行せる處委員が政友三名、民政三名の二派になり、政友派にては永山徳一氏、民政派にては永山常三郎氏を擧げ投票の結果は兩者各三票宛同数となり、その結果佐藤村の結果原案に對し修正を行つたのは二百八十三棟七百六十に開催するが、宮城、茨城兩縣決戦投票の結果も前同様となり六圓七十七錢、内増額したもので四千四百一十一圓五十四錢、減額を豫想されて居る。

